

mita 電子タイムレコーダー

RK-1000

取扱説明書

(保証書付)



このたびは「mita 電子タイムレコーダー RK-1000」を
ご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。

株式会社ミタ

目次

目次

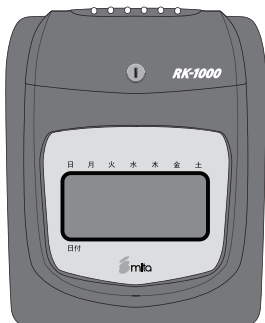
はじめに	1
本体・付属品をお確かめください	1
商品仕様	1
安全にお使いいただくために	2
各部の名称とはたらき	4
通常の使用方法について	7
タイムカードの種類と締日の確認	7
リボンカセットの確認	7
打刻の方法	7
通常の打刻位置	7
点灯位置と異なる欄への打刻	8
徹夜ボタンを使った操作	8
各プログラム設定の準備	9
上部カバーの開け方・閉め方	9
プログラム一覧	9
各プログラムについて	10
00. 西暦年の設定	10
01. 日付の設定	10
02. 時刻の設定	10
03. 時刻表示選択 (12 時制 /24 時制)	11
04. 日替時刻の設定	11
05. 締日の設定	12
06. タイムカードの空段位置の設定	12
07.08. タイムカードの印字位置の調整	12
09. タイムカードの表裏判別機能の設定	13
10. 時報吹鳴時間の設定	13
11. 印字表現の設定	13
12.13. サマータイム開始の日付・時刻の設定	14
14.15. サマータイム終了の日付・時刻の設定	14
16. ~ 19. 印字色の切り替え時刻設定	15
20. ~ 25. 自動欄移動の設定	16
26. ~ 45. 時報、チャイムの設定	17
プログラムの初期化について	18
本機を壁に掛けて設置する場合	19
外部時報接続について	19
リボンカセットの交換方法	20
別売り付属品及び消耗品	21
製品保証書 (お客様控え)	裏表紙

はじめに

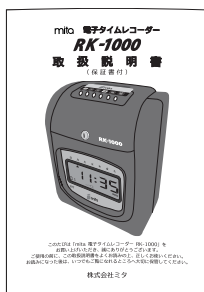
▼本体・付属品をお確かめください

製品がお手元に届いたら、まず、本体・付属品に不足や破損がないか、ご確認をお願いいたします。

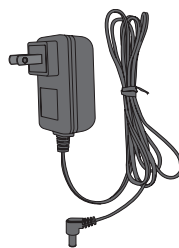
※ リボンカセットはあらかじめ本体に取り付けてあります。併せてご確認ください。



タイムレコーダー本体



取扱説明書（本書）



電源アダプタ



鍵（2本）


▼商品仕様


時計精度	月差± 15 秒以内（常温）
カレンダー	～ 2099 年 閏年、大小月、曜日は自動判定
印字方式	ドットインパクト方式
対応タイムカード	ミタ「Mシリーズ」タイムカード（M-A・M-B・M-C・M-F）
メモリー保持機能	工場出荷より停電累計時間 3 年間
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 印字欄を設定時刻で自動的に切り替える機能・ 印字色を設定時刻で赤色もしくは黒色に切り替える機能・ 本体内蔵の電子メロディや接続した外部時報装置を設定時刻に鳴らす機能・ 日替わり時刻を過ぎても、前日の段に退勤印字ができる徹夜機能
使用環境	温度：0℃～ 40℃ 湿度：20%～ 80% 結露なし
外形寸法	幅 193mm × 高さ 244mm × 奥行き 123mm
本体質量	約 2.4kg（AC アダプタ含む）
電源	100V～ 240V 50/60Hz
入力電圧	DC12.5V 1500MA
消費電力	通常 2W ～ 最大 18.75W

安全にお使いいただくために


「安全にお使いいただくために」では、お客様や第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。


下記の内容をよくお読みになったうえで、安全に正しくお使いください。


 **警告** 誤った取り扱いにより人が死亡または、重傷を負う可能性がある内容を表示しています。


 **注意** 誤った取り扱いにより人が傷害を負う可能性および、物的破損が発生する可能性がある内容を表示しています。

▼絵表示の説明


 この表示は、してはいけない禁止行為であることを示しています。


 この表示は、必ず行っていただきたいことを示しています。


 この表示は、必ず電源プラグをコンセントから抜いていただきたいことを示しています。


 この表示は、分解してはいけないという禁止について示しています。


警告


 機器の分解や改造などは行わないでください。
●感電や火災などの事故または、故障の原因になります。

 万一、機器から発熱、発煙、異臭がするなどの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。
●そのまま使用すると火災や感電などのケガのおそれがあります。

 万一、金属片、水、液体などの異物が機器の内部へ入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。
●そのまま使用すると火災や感電などのケガのおそれがあります。

 表示された電源電圧(DC INPUT:12.5V 1500mA)以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。
●発熱して発火する危険があります。

 濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。
●感電などのケガの原因になります。

 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、コードをステップルや釘、針金などで固定したり、束ねて使用しないでください。
●漏電や発火の原因になります。

⚠️ 注意



不安定な場所への設置はしないでください。
● 落ちたり、倒れたりしてケガや故障の原因になります。



水分や湿気による結露の生じる環境やほこりが多い場所での使用及び保管はしないでください。
● 漏電や火災などの事故の原因になります。



蒸気や油煙が当たる場所また、高温・多湿な場所への設置はしないでください。
● 漏電や破損のおそれがあります。



電源プラグおよびその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でよく拭いてください。
● 発熱して発火する危険があります。



本説明書の指示にない部分（プリンターヘッドや内部機器）には、触れないようご注意ください。
● 火傷や感電などのケガ、故障の原因になります。



指定のタイムカード以外の物をタイムカード挿入口に差し込んだり、落としたりしないでください。
● 火災や故障の原因になります。



機器を移動させる場合には、電源プラグを抜いてから行ってください。
● コードが傷ついて、漏電や故障の原因になります。



機器の清掃、インクリボンの交換を行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
● 火傷や感電の原因となることがあります。



万一、この機器を落としたりケースを破損した場合は、機器から電源プラグを抜いて販売店または、お客様相談ダイヤルまでご連絡ください。
● そのまま使用すると漏電などの事故や故障のおそれがあります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。また、抜き差しするときは必ず電源プラグを持って行ってください。
● 電源コードが破損した場合、感電などのケガや火災の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
● 漏電による感電や発火など事故の原因になります。

各部の名称とはたらき

▼本体正面



上部カバー

各プログラムの設定内容の変更や、リボンカセットの確認、交換を行う際は、このカバーを付属の鍵を使用して取り外します。

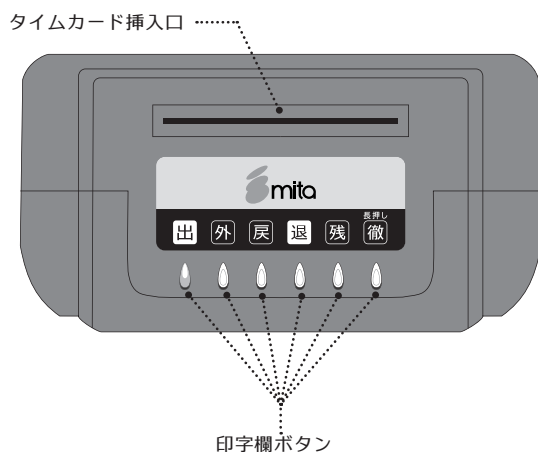
上部カバー開閉鍵部

ここに付属の鍵を差し、上部カバーの開閉を行います。

液晶表示部

現在時刻、日付、曜日、通電状態、印字色および設定モード時の内容を表示します。

▼本体上面



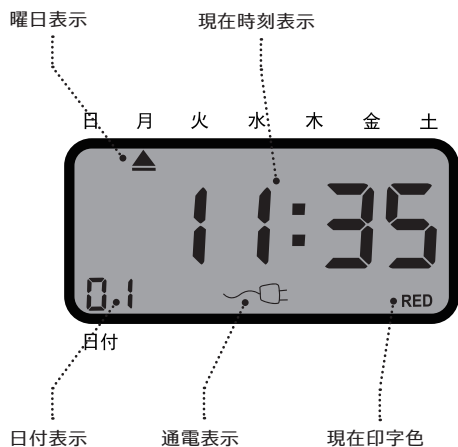
タイムカード挿入口

ここへタイムカードを軽く挿入し、打刻します。自動引き込み式のため、カードは自動的に引き込まれ、打刻した後、自動的に上がってきます。

印字欄ボタン

印字位置を点灯で示したり、ボタンを押して印字位置の指定を行います。設定モード時にはプログラムの移動、設定の入力に使用します。

▼液晶表示部（通常モード時）



現在時刻表示

現在の時刻を表示します。

日付表示

現在の日付（日にち）を表示します。

曜日表示

▲カーソルが現在の曜日を指します。

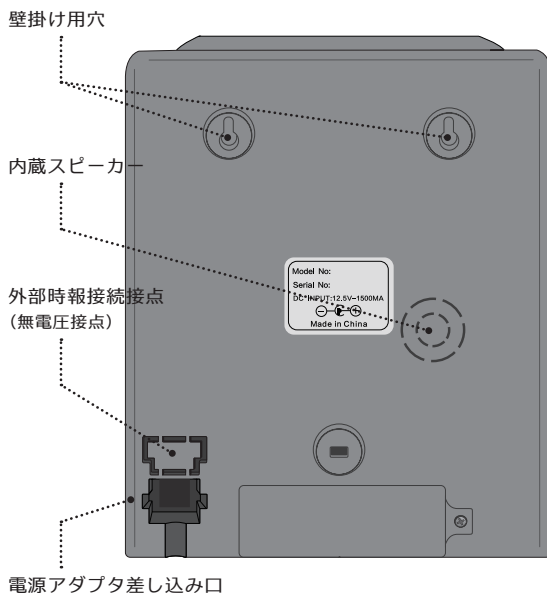
通電表示

通電時はコンセントマークが表示されます。

現在印字色

打刻時の印字色が「RED」（赤印字）と「BLACK」（黒印字）で表示されます。

▼本体背面



壁掛け用穴

本機を壁に掛けて設置する場合、この壁掛け用穴を木ネジに掛けて設置します。（詳細については、本書 19 ページ「本機を壁に掛けて設置する場合」をご参照ください。）

内蔵スピーカー

ここから本体内蔵メロディが、鳴ります。

外部時報接続接点（無電圧接点）

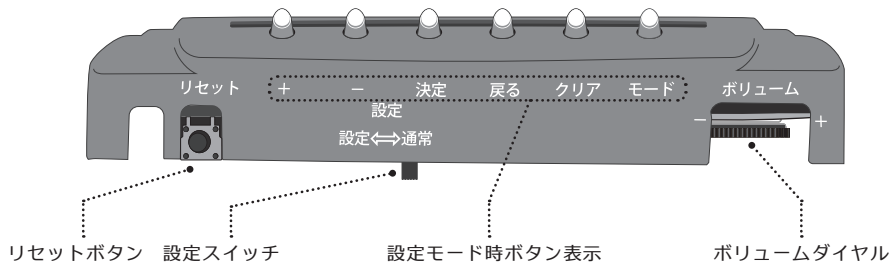
チャイムやベルなど外部時報装置等を鳴らす場合、ここから内部接点に接続して使用します。（詳細については、本書 19 ページ「外部時報接続について」をご参照ください。）

電源アダプタ差し込み口

ここに付属の電源アダプタを接続します。

▼操作パネル

※上部カバーを取り外します。本書9ページ「上部カバーの開け方・閉め方」をご参照ください。



リセットボタン

設定モード時においてこのボタンを押すと、最初のプログラム No.00（西暦年の設定）へジャンプします。

※このリセットボタンは、設定を初期化するボタンではありません。

（設定の初期化については、本書18ページ「プログラムの初期化について」をご参照ください。）

設定スイッチ

時刻の調整や設定内容の変更を行う際、右（通常モード）から左（設定モード）へ切り替えます。

設定モード時ボタン表示

設定モード時の各印字欄ボタンのはたらきを記しています。

ボリュームダイヤル

チャイム（内蔵メロディ）などの音量調整を行います。（右へ回す：大きく 左へ回す：小さく）

▼設定モード時の各ボタンのはたらき

設定モードでの設定 / 操作は、本体上面の6個のボタン（印字欄ボタン）で行います。



「+」

設定数値を大きくする。

「-」

設定数値を小さくする。

「決定」

設定を確定し、プログラム No. を進める。

「戻る」

プログラム No. を戻す。

「クリア」

規定値をクリア^{※1}または、初期値^{※2}に戻す。

「モード」

プログラムの選択を行う際に押し、+- ボタンでプログラム項目を選択します。

※1 12:50に時報を鳴らしていたが、鳴らす必要がなくなった。→プログラム No.30 を表示した状態でクリアボタンを押し、決定ボタンで変更を確定する。時報が鳴る設定が削除され、未設定となります。

※2 締日の設定を20日で組んでいたが、変更になった。→プログラム No.05 を表示した状態でクリアボタンを押し、決定ボタンで変更を確定する。初期値（月末締め）に戻ります。

通常の使用方法について

対応タイムカードと締日の確認

本機では、ミタ「Mシリーズ」タイムカードがお使いいただけます。
ご購入時、本機の締日は月末締めを設定されています。月末締め以外の締日でご利用の場合は、本書 12 ページ「05. 締日の設定」、「06. タイムカードの空段位置の設定」をご参照に、正しく設定を行ってからご使用ください。

リボンカセットの確認

リボンカセットは、あらかじめ本体に取り付けてあります。
本機のご利用前に、本書 20 ページ「リボンカセットの交換方法」をご参照いただき、リボンカセットが正しく取り付けられていることを確認してください。

▼打刻

打刻の方法

本機の打刻方法は、タイムレコーダーをはじめてお使いの方にも簡単にご使用いただける自動引き込み式です。

タイムカードの印字面を手前にして、カード挿入口へタイムカードを軽く入れます。

自動引き込み式のため、カードは自動的に引き込まれ、打刻した後、自動的に上がってきます。

メモ

※カードが引き込まれたら、カードから手を離してください。
カードの動いている途中に無理に押し込んだり、引き出すと、印字ずれや故障の原因となります。

※カードにテープや付箋などが貼ってあると、印字する段がずれたり、本体の故障につながる場合があります。

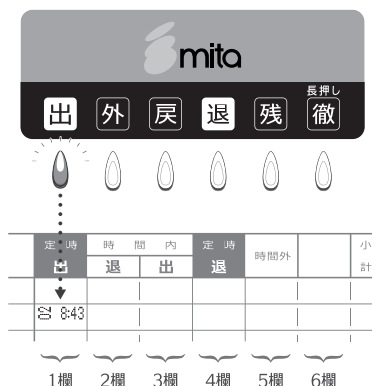


▼打刻位置について

通常の打刻位置

タイムカードに印字される場所の横方向は、本体上部の赤く点灯している印字欄ボタンの位置と同じ欄に印字します。

ボタンの点灯位置を確認の上、タイムカードの打刻を行ってください。



点灯位置と異なる欄への打刻

点灯している印字欄ボタンと異なる欄に打刻したい場合、打刻位置の指定は手動で行います。

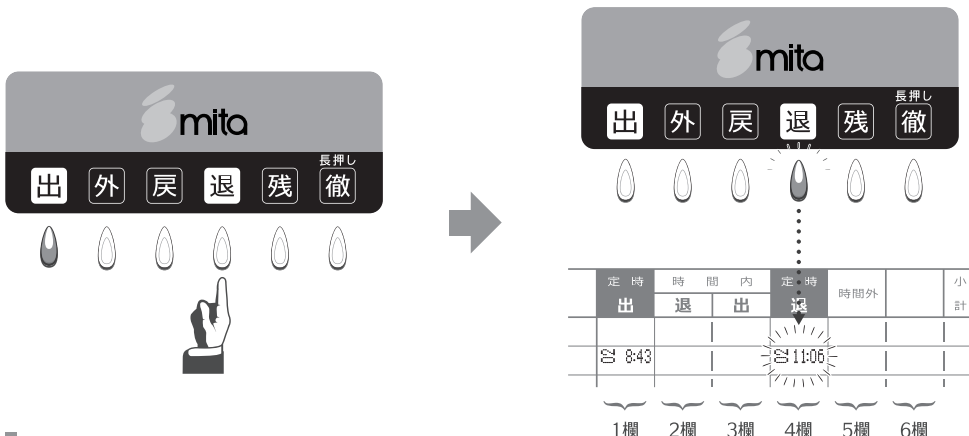
1. 打刻したい欄と同位置の印字欄ボタンを押します。
2. 押した印字欄ボタンが点灯したのを確認し、タイムカードを挿入してください。

※「自動欄移動の設定」を行っている場合、ボタンの点灯は数秒後に元の位置に戻ります。

※本書 16 ページ「自動印字欄の設定」(プログラム No.20 ~ No.25) を設定いただくことで、移動時刻毎に自動で印字欄の移動を行います。

例

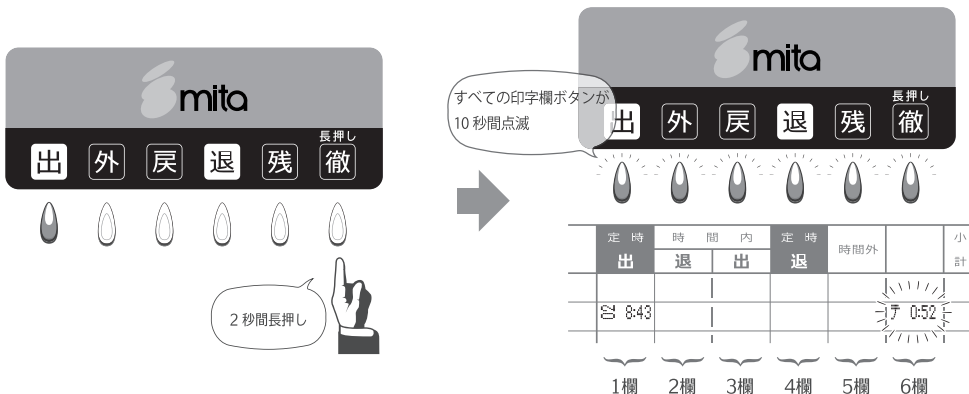
早退のため、点灯している印字欄ボタン（1 欄目）ではなく、退勤位置（4 欄目）へ打刻したい。



徹夜ボタンを使った操作

本書 11 ページ「日替時刻の設定」(プログラム No.04) で設定した時刻（初期設定は 0:00）を過ぎて退勤打刻する際は、下記の方法で操作し、打刻を行ってください。

1. 6つの印字欄ボタンの右端にある「徹」ボタン（徹夜ボタン）を2秒間長押しします。
2. 全ての印字欄ボタンが赤く点滅するのを確認し、タイムカードを挿入してください。
前日の6欄目へ「テ 0:52」のように打刻されます。
3. 約 10 秒後に印字欄ボタンの点滅が消え、徹夜機能は自動で解除されます。（通常状態へ戻ります。）

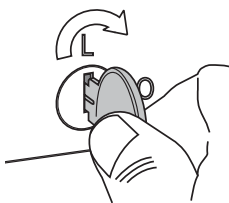


各プログラム設定の準備

時刻の調整や設定内容の変更などは、すべて上部カバーを外し、設定スイッチを右（通常モード）から、左（設定モード）へ切り替えた状態で行います。設定スイッチを左（設定モード）から右（通常モード）へ戻すと設定が完了します。

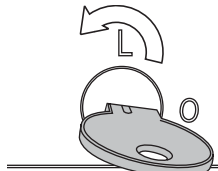
上部カバーの開け方・閉め方

▼上部カバーの開け方



付属の鍵を、上部カバー開閉鍵部に差し込み、鍵穴を縦（ロック）から横（ロック解除）に回し、ロック解除をします。
ロックを解除した状態で、上部カバーを上を持ち上げます。

▼上部カバーの閉め方



外している上部カバーを、本体上部にセットし、本体にすぎ間なく覆い被せませす。上部カバーが完全に装着されたのを確認して、鍵を横（ロック解除）から縦（ロック）に回し、鍵を抜いてください。

プログラム一覧

タイムレコーダーの各設定を行うプログラム No. と項目、それぞれの初期値（工場出荷時の設定値）は以下の通りです。

設定を行うときには、コンセントへ電源プラグを差し込み通電した状態で行います。
（各プログラムの設定の詳細につきましては、各プログラム説明ページをご参照ください。）

プログラム No.	設定項目	初期値	ページ
00	西暦年の設定	現在の年	10 ページ
01	日付の設定	現在の日付	10 ページ
02	時刻の設定	現在の時刻	10 ページ
03	時刻表示選択（12 時制 / 24 時制）	24 時制	11 ページ
04	日替時刻の設定	00:00	11 ページ
05	締日の設定	31（月末締め）	12 ページ
06	タイムカードの空段位置の設定	01	12 ページ
07	タイムカードの印字位置の調整（上下）	10	12 ページ
08	タイムカードの印字位置の調整（左右）	5	12 ページ
09	タイムカードの表裏判別機能の設定	01（判別する）	13 ページ
10	時報吹鳴時間の設定	10（秒）	13 ページ
11	印字表現の設定	01（日付 + 時刻印字）	13 ページ
12,13	サマータイム開始の日付・時刻の設定	--:--	14 ページ
14,15	サマータイム終了の日付・時刻の設定	--:--	14 ページ
16～19	印字色の切り替え時刻設定	--:--（すべての曜日有効）	15 ページ
20～25	自動欄移動の設定	--:--（すべての曜日有効）	16 ページ
26～45	時報、チャイムの設定	--:--（すべての曜日有効）	17 ページ

※ [--:--] は時刻の設定が未設定の状態を示しています。

各プログラムについて

00. 西暦年の設定

現在の西暦年の設定を行います。



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.00 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. 右2桁が点滅するので、[+][−] ボタンで数値を変更します。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。

01. 日付の設定

現在の日付の設定を行います。



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.01 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. まず左2桁 "月" の数値を [+][−] ボタンで変更します。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。
4. 次に右2桁 "日" の数値を [+][−] ボタンで変更します。
5. [決定] ボタンを押して確定してください。

02. 時刻の設定

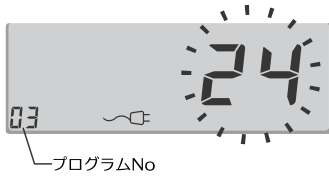
本機の時刻設定を行います。現在時刻を24時制で設定してください。



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.02 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. まず左2桁 "時" (hour) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。
4. 次に右2桁 "分" (min) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
5. [決定] ボタンを押して確定してください。
("分" の決定ボタンを押した瞬間が入力した時刻の0秒スタートとなります。)

03. 時刻表示選択（12 時制 /24 時制）

表示部に表示される時刻を 12 時制 /24 時制どちらで行うか選択します。



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.03 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. [+][−] ボタンで 12 か 24 を選択します。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。

12 時制 液晶表示：AM/PM 12:00～11:59 と表示
タイムカード：午後の打刻は分の下にアンダーライン

24 時制 液晶表示：00:00～23:59 で表示
タイムカード：00:00～23:59 で打刻



04. 日替時刻の設定

タイムレコーダー上での日付が切り替わり、タイムカードの印字段が一段下がって打刻される時刻（システムの日替わり時刻）の設定です。



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.04 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. まず左 2 桁 " 時 " (hour) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。
4. 次に右 2 桁 " 分 " (min) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
5. [決定] ボタンを押して確定してください。

日替時刻を任意に変更することで、出勤と退勤の印字段のずれをなくすることができます。一般的に日付の変更は 0 時ですが、業務が翌日に終了することの多い職場などで、便利な機能です。

午前 6 時に退勤、「日替時刻」が初期設定時の午前 0 時の印字（退勤時刻が「日替時刻」より後の時刻の場合）

22:42					
			6:17		

出勤、退勤で印字段が変わってしまう

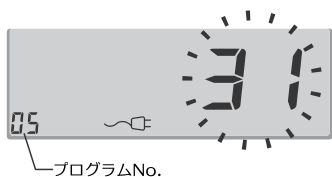
午前 6 時に退勤、「日替時刻」設定が午前 7 時の場合の印字（退勤時刻が「日替時刻」より前の時刻の場合）

22:42			6:17		
-------	--	--	------	--	--

出勤、退勤が同じ印字段となる

05. 締日の設定

月の区切りを設定します。01～31まで設定できます。未締めの場合は31に設定します。



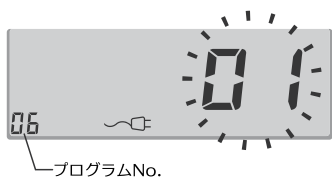
1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.05 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. [+][−] ボタンで数値を変更します。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。

ミタ純正タイムカードでの設定

M-A カード：31日 M-B カード：20日 M-C カード：25日

06. タイムカードの空段位置の設定

タイムカードの空段となっている段位置の設定を行います。



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.06 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. 数値を [+][−] ボタンで選択します。数値は 01 から 32 まで設定できます。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。

ミタ純正タイムカードでの設定

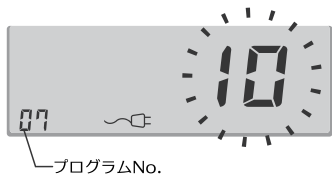
M-A カード：01段 M-B カード：17段 M-C カード：17段

07.08. タイムカードの印字位置の調整

タイムカードの印字位置の調整を上下と左右で行います。

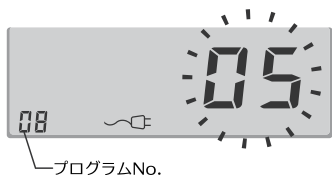
※出荷段階の調整は基本的に必要ありませんが、印字位置にずれが生じる場合、以下の方法で微調整を行ってください。

07. 上下調整



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.07 を表示させ、[決定] ボタンを押して上下の位置設定を行います。
2. 数値を [+][−] ボタンで選択します。00 から 19 まで設定できます。数値が大きいほど上に小さいほど下に印字されます。
3. [決定] ボタンを押して確定すると、プログラム No.08 左右の位置設定へ自動的に移動します。

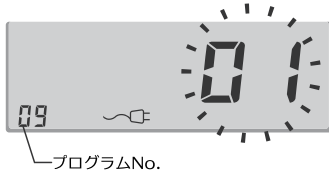
08. 左右調整



4. 数値を [+][−] ボタンで選択します。00 から 09 まで設定できます。数値が大きいほど右に小さいほど左に印字されます。
5. [決定] ボタンを押して確定してください。

09. タイムカードの表裏判別機能の設定

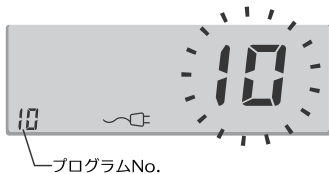
タイムカードの表裏判別機能の有効と無効の設定を行います。



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.09 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. [+][−] ボタンで 00 (無効) と 01 (有効) を選択します。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。

10. 時報吹鳴時間の設定

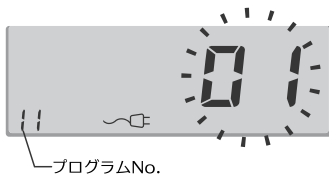
接続した外部時報や内蔵メロディの吹鳴時間を秒単位で設定します。



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.10 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. [+][−] ボタンで数値を変更します。00 (秒) から 99 (秒) まで設定できます。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。

11. 印字表現の設定

タイムカードに印字する内容を“曜日+時刻”か“日付+時刻”のどちらかを選択します。



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.11 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. [+][−] ボタンで 00 (曜日+時刻) と 01 (日付+時刻) を選択します。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。

00 曜日+時刻の印字例

日付	定時出	時間内退	定時退	時間外	小計
月 8:31					

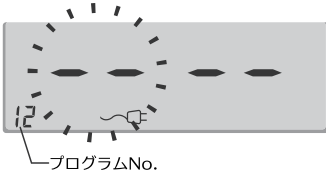
01 日付+時刻の印字例

日付	定時出	時間内退	定時退	時間外	小計
日 8:31					

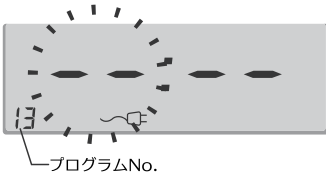
12.13. サマータイム開始の日付・時刻の設定

サマータイムを開始する日付と時刻を設定することで設定期間、時計が1時間進みます。

開始する日付



開始する時刻

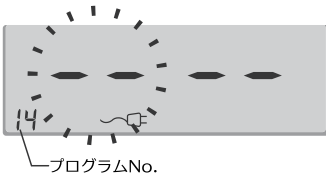


1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.12 を表示させ、[決定] ボタンを押して開始する日付の設定を行います。
2. まず左2桁 "月" の数値を [+][−] ボタンで変更します。
3. [決定] ボタンを押して確定し、次に右2桁 "日" の数値を [+][−] ボタンで変更します。
4. [決定] ボタンを押して確定すると、プログラム No.13 開始時刻の設定へ自動的に移動します。
5. 左2桁 "時" (hour) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
6. [決定] ボタンを押して確定し、次に右2桁 "分" (min) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
7. [決定] ボタンを押して確定してください。

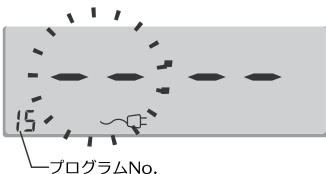
14.15. サマータイム終了の日付・時刻の設定

サマータイムが終了する日付と時刻の設定を行います。

終了する日付



終了する時刻



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.14 を表示させ、[決定] ボタンを押して終了する日付の設定を行います。
2. まず左2桁 "月" の数値を [+][−] ボタンで変更します。
3. [決定] ボタンを押して確定し、次に右2桁 "日" の数値を [+][−] ボタンで変更します。
4. [決定] ボタンを押して確定すると、プログラム No.15 終了時刻の設定へ自動的に移動します。
5. 左2桁 "時" (hour) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
6. [決定] ボタンを押して確定し、次に右2桁 "分" (min) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
7. [決定] ボタンを押して確定してください。

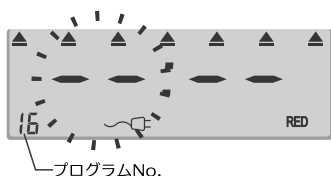
16. ～ 19. 印字色の切り替え時刻設定

印字色を赤もしくは黒に切り替える時刻を設定できます。遅刻・早退管理に便利な機能です。何も設定されていない場合は、黒一色のみの印字となります。

(印字色は、プログラム No.04 「日替時刻の設定」で設定された時刻毎に黒色印字に切り替わります。)

No.16	黒→赤	No.17	赤→黒
No.18	黒→赤	No.19	赤→黒

印字色を切り替える時刻の設定



有効にする曜日の設定



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.16 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. まず左2桁 "時" (hour) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。
4. 次に右2桁 "分" (min) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
5. [決定] ボタンを押して設定時刻を確定してください。
6. 次に有効にする曜日の選択を行います。
日 (曜日) の下でカーソルが点滅するので、[+] (有効) ボタンか [−] (無効) ボタンで有効か無効を選択します。
7. [決定] ボタンを押して確定すると、カーソルが右 (月曜日) に移動します。
同様の手順で土曜日まで設定を行います。
8. 土曜日まで設定を行い [決定] ボタンを押して確定すると、次のプログラム No.17 に自動的に移動します。プログラム No.17 から No.19 の設定を行う場合、2～7 と同様の手順で行ってください。

メモ欄

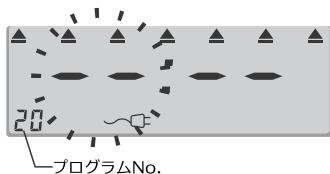
20. ～ 25. 自動欄移動の設定

自動欄移動の設定を行うことで、タイムカードの出勤欄や退勤欄へ印字欄の移動を自動で行う便利な機能です。

(印字欄は、プログラム No.04「日替時刻の設定」で設定された時刻毎に 1 欄目に移動します。)

No.20	1 欄目に移動する設定	No.21	2 欄目に移動する設定
No.22	3 欄目に移動する設定	No.23	4 欄目に移動する設定
No.24	5 欄目に移動する設定	No.25	6 欄目に移動する設定

自動欄移動を行う時刻の設定



有効にする曜日の設定



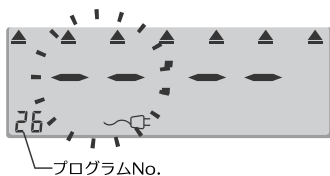
1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.20 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. まず左 2桁 "時" (hour) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。
4. 次に右 2桁 "分" (min) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
5. [決定] ボタンを押して設定時刻を確定してください。
6. 次に有効にする曜日の選択を行います。
日 (曜日) の下でカーソルが点滅するので、[+] (有効) ボタンか [−] (無効) ボタンで有効か無効を選択します。
7. [決定] ボタンを押して確定すると、カーソルが右 (月曜日) に移動します。
同様の手順で土曜日まで設定を行います。
8. 土曜日まで設定を行い [決定] ボタンを押して確定すると、次のプログラム No.21 に自動的に移動します。
プログラム No.21 から No.25 の設定を行う場合、2～7 と同様の手順で行ってください。

メモ欄

26. ～ 45. 時報、チャイムの設定

No.26 ～ No.45 まで、最大 20 ステップの外部時報及び内蔵メロディを鳴らす時刻の設定ができます。

時報、チャイムが鳴る時刻の設定



有効にする曜日の設定



1. [モード] ボタンを押した後、[+][−] ボタンでプログラム No.26 を表示させ、[決定] ボタンを押します。
2. まず左 2桁 "時" (hour) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
3. [決定] ボタンを押して確定してください。
4. 次に右 2桁 "分" (min) の数値を [+][−] ボタンで変更します。
5. [決定] ボタンを押して設定時刻を確定してください。
6. 次に有効にする曜日の選択を行います。
日 (曜日) の下でカーソルが点滅するので、[+] (有効) ボタンか [−] (無効) ボタンで有効か無効を選択します。
7. [決定] ボタンを押して確定すると、カーソルが右 (月曜日) に移動します。
同様の手順で土曜日まで設定を行います。
8. 土曜日まで設定を行い [決定] ボタンを押して確定すると、次のプログラム No.27 に自動的に移動します。プログラム No.27 から No.45 の設定を行う場合、2 ～ 7 と同様の手順で行ってください。

メモ欄

No.26	:	No.27	:
No.28	:	No.29	:
No.30	:	No.31	:
No.32	:	No.33	:
No.34	:	No.35	:
No.36	:	No.37	:
No.38	:	No.39	:
No.40	:	No.41	:
No.42	:	No.43	:
No.44	:	No.45	:

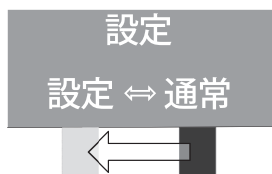
プログラムの初期化について

プログラムの初期化（工場出荷の状態に戻す）はA.「すべて（現在年、日付、時刻以外）を初期化」
B.「一部のプログラムを初期化」の2種類があります。初期化した内容は元には戻せませんので、十分に確認したうえで操作してください。

A. 現在年、日付、時刻以外のすべてのプログラムを初期化

お客様が設定した西暦年の設定、日付の設定、時刻の設定以外の内容を工場出荷時の初期状態にします。初期化した内容は元に戻せませんのでご注意ください。

設定スイッチ



印字欄ボタン

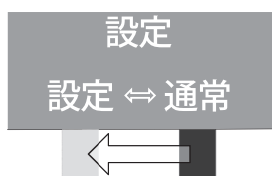


1. 上部カバーを外し、設定スイッチを通常（右側）から設定（左側）へ切り替えます。
2. 印字欄ボタンの左から 1.5.6 番目の印字欄ボタンを同時に押し、「ピーピーピー」と電子音が 3 回鳴ったことを確認してください。
3. 西暦年の設定（プログラム No.00）、日付の設定（プログラム No.01）、時刻の設定（プログラム No.02）以外のすべてのプログラムの初期化が完了です。

B. 印字色の切り替え時刻、自動欄移動、時報の設定の初期化

お客様が設定した印字色の切り替え時刻設定、自動欄移動の設定、時報、チャイムの設定の内容を工場出荷時の初期状態にします。初期化した内容は元に戻せませんのでご注意ください。

設定スイッチ



印字欄ボタン

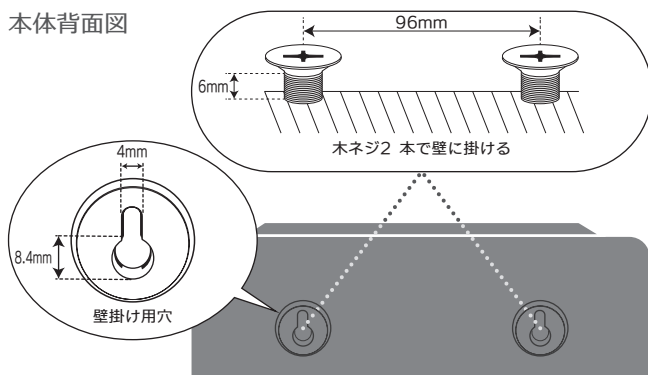


1. 上部カバーを外し、設定スイッチを通常（右側）から設定（左側）へ切り替えます。
2. 印字欄ボタンの左から 2.5.6 番目の印字欄ボタンを同時に押し、「ピーピーピー」と電子音が 3 回鳴ったことを確認してください。
3. 印字色の切り替え時刻の設定（プログラム No.16～No.19）、自動欄移動の設定（プログラム No.20～No.25）、時報、チャイムの設定（プログラム No.26～No.45）のすべての設定の初期化が完了です。

本機を壁に掛けて設置する場合

本機背面の壁掛け用穴を木ネジに掛けることにより壁掛け設置して使用することができます。

本体背面図



▼ご注意

- ・壁掛け設置用の木ネジは付属しておりません。市販の木ネジをご購入ください。
- ・記載の寸法は目安になります。取付設置の前に必ず寸法などご確認いただきますようお願いいたします。
- ・取り付けを行う際には、必ず電源アダプタを外した状態で行ってください。
- ・本機の重さを十分支えられる安定した壁面を選び、水平にしっかり固定してください。
- ・取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

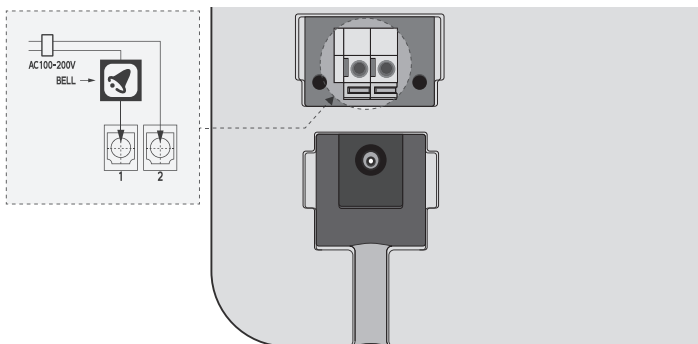
外部時報接続について

背面下部の外部時報接続端子にチャイムやベルなど時報装置を接続し、設定した時刻に鳴らすことができます。(本書 17 ページ参照)

時報装置が鳴る秒数は、時報吹鳴時間の設定で行います。(本書 13 ページ参照)

外部時報の接続・配線工事の際は、必ず本機から電源アダプタを外した状態で行ってください。また、工事につきましては電気工事士の有資格者、または電気工事店などへご依頼ください。

本体背面



▼外部接続仕様

接点出力：無電圧接点出力

時報回路：1 回路 1 接点

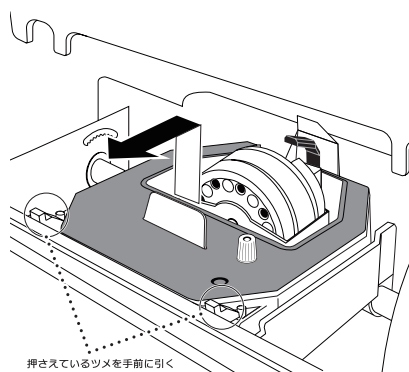
※本時報用端子は、設定した時報に合わせて「オン」になります。電圧などは出力されておりませんので、ベルやブザーなどの電源は別途ご用意ください。(電源 AC100V)

リボンカセットの交換方法

印字が薄くなってきたら、リボンカセットの交換を行ってください。

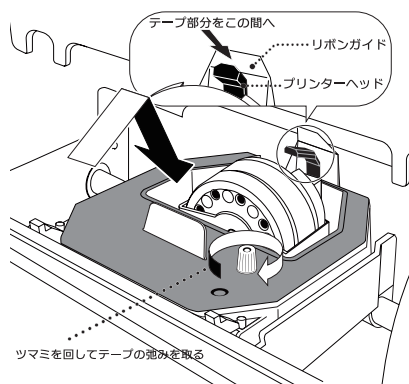
※ はじめて交換を行う際は、脱落防止用に貼ってあるテープをはがしてから交換を行ってください。

取りはずし



1. 電源が入った状態で本体から上部カバーを外し、設定スイッチが通常（右側）になっていることを確認してください。
2. 左から4番目の印字欄ボタンを押し、リボンカセットの位置を中央に移動させます。
3. 電源アダプタを外し、リボンカセットの位置を中央に固定します。
4. リボンカセットを押さえている2つのツメを片手の指で手前に引き、もう一方の手でリボンカセットの取っ手を持ち上げて取り出します。

取り付け



5. 新しいリボンカセットをセットします。
テープ部分をリボンガイド（アルミ板）とプリンターヘッド（黒色のプラスチック棒）の間へ入れてから、カセットを元の位置へカチッという音がするまで押し込みます。
6. リボンカセットについているツマミを時計回りに回し、リボンの弛みを取ります。
7. 上カバーを閉じ、電源アダプタを接続してください。



リボンカセットの交換の際に、本体内部の配線や部品に手を触れないようご注意ください。

- ・交換後に正しく印刷が行えない（印字が汚れる / 掠れる / 印字されない）場合、リボンカセットが正しく装着されていない可能性があります。
- ・カセットの装着位置やテープ部分がリボンガイドとプリンターヘッドの間に正しく装着されているか（手順5）をご確認の上、再度取り付けを行ってください。

別売り付属品及び消耗品

- | | | |
|-----------------------------|---------|-------------|
| ●ミタ純正タイムカード
「MKシリーズ」 | M-A カード | 31日・15日締め用 |
| | M-B カード | 20日・5日締め用 |
| | M-C カード | 25日・10日締め用 |
| | M-F カード | 締め日フリー用カード |
| ●2色リボンカセット
ミタMKタイムレコーダー用 | MRC-700 | |
| ●タイムカードラック
立て掛け・壁掛け用 | MCR-20 | 20人用（10枚2列） |

お問い合わせ

株式会社ミタ お客様相談ダイヤル

電話：072-959-7706

受付時間：月～金曜日 9：00～18：00（ただし当社指定の休業日を除く）

-
- ・本書の内容につきましては、予告なしに変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。
 - ・本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、万一お気づきの点やご不明点などがございましたら、ご購入の販売店までお問合せください。
 - ・本機の運用に際しましては、本書の内容を十分に理解していただいた上でご活用ください。
 - ・本書の内容の一部または全部を、無断で複写することは禁止されております。

製品保証書（お客様控え）

品名：mita 電子タイムレコーダー RK-1000

製造 No.

お買い上げ日 20 年 月 日

このたびは、弊社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

この製品は、高度な品質管理のもと、厳密な検査に合格しております。お客様の正常な使用状態に於いて、万一故障した場合にはお買い上げの日から一年間、無償で修理いたします。

※修理のご依頼は、下記販売店もしくはお客様相談ダイヤルへご連絡ください。

※修理の際は、必ずこの保証書をご提示ください。

※本保証書は日本国内のみ有効となります。

※本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

納
品
販
売
店



販売元：株式会社ミタ

〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山 321

お客様相談ダイヤル：072-959-7706

受付時間：月～金曜日 9：00～18：00

（ただし当社指定の休業日を除く）